

カンボジアは内戦の影響もあり平均年齢が26.7歳、日本の48.6歳と比べるとわずか半分ほどという若い国です。

2024年の日本の出生数は72万人、カンボジアは32万人でこちらも半分なのですが、人口では10倍近くの差があることを考えれば赤ちゃん向けビジネスは非常に高い需要があるということになりますね。出生率もそろそろ減退しだす頃かとも思いますが、まだまだ赤ちゃんや子供向けの需要は続くと思われます。

ローカルの市場でベビー用品を販売していたカンニヤさん、以前から当社のローンを何度か利用してくれていましたが、空港近くの集合住宅街の入口にお店をオープンすることができました。

カンボジアの人々の生活レベルも上がってきただんだんと扱う商品も高級志向にする必要もあるということで、香港からベビー服やベビーカーやチャイルドシートなどの商品を輸入するために相談され、また融資をさせていただきました。

この集合住宅の中には幼稚園や学校もあり、今後は児童用の牛乳やお菓子など品揃えも増やして地域の家族たちのために長くお役に立てるようと考えているということです。健全な子どもたちが育つ環境づくりはやはり大事ですね。



ご自身も3歳、5歳、8歳のお子さんを持つカンニヤさん、我々も引き続き応援させていただきます。

